

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 7 月 7 日(2022.7.7)

【公開番号】特開 2021-19956(P2021-19956A)
【公開日】令和 3 年 2 月 18 日(2021.2.18)
【年通号数】公開・登録公報 2021-008
【出願番号】特願 2019-139239(P2019-139239)
【国際特許分類】
A 6 1 B 3/028(2006.01)
【FI】
A 6 1 B 3/028

10

【手続補正書】
【提出日】令和 4 年 6 月 29 日(2022.6.29)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

被検眼の光学特性を自覚的に測定する自覚式検眼装置であって、
前記被検眼に第 1 視標を呈示する第 1 視標呈示部を有し、前記被検眼に向けて前記第 1 視標呈示部から出射された第 1 視標光束を投光することで、前記第 1 視標を第 1 呈示距離にて呈示する第 1 投光光学系と、
前記被検眼に第 2 視標を呈示する第 2 視標呈示部であって、前記第 1 視標呈示部とは異なる第 2 視標呈示部を有し、前記被検眼に向けて前記第 2 視標呈示部から出射された第 2 視標光束を投光することで、前記第 2 視標を前記第 1 呈示距離とは異なる第 2 呈示距離にて呈示する第 2 投光光学系と、
前記第 1 視標呈示部と、前記第 2 視標呈示部と、の少なくともいずれかを制御し、前記第 1 視標と前記第 2 視標とを呈示させる制御手段であって、前記被検眼に前記第 1 視標と前記第 2 視標とを同時に呈示させる制御手段と、
を備えることを特徴とする自覚式検眼装置。

30

【請求項 2】
請求項 1 の自覚式検眼装置において、
前記第 1 投光光学系の第 1 光路は前記第 2 投光光学系の第 2 光路に含まれ、前記第 2 光路上にて、前記第 1 視標呈示部が、前記第 2 視標呈示部が配置された位置よりも被検眼側に近い位置に配置されることで、前記第 1 呈示距離と前記第 2 呈示距離とを異なる距離とすることを特徴とする自覚式検眼装置。

40

【請求項 3】
請求項 2 の自覚式検眼装置において、
前記第 1 視標呈示部は、前記第 1 視標を呈示する呈示領域の一部に、前記第 2 視標光束を透過させる透過領域を有し、
前記第 2 投光光学系は、前記被検眼に向けて、前記第 2 視標呈示部から出射され、前記透過領域を透過した前記第 2 視標光束を投光することを特徴とする自覚式検眼装置。

【請求項 4】
請求項 1 ～ 3 のいずれかの自覚式検眼装置において、
前記第 1 視標呈示部を移動させる第 1 移動手段と、
前記第 2 視標呈示部を移動させる第 2 移動手段と、

50

を備え、

前記第 1 移動手段は、前記第 1 投光光学系における前記第 1 光路の光軸方向へ前記第 1 視標呈示部を移動させることで、前記第 1 呈示距離を変更し、

前記第 2 移動手段は、前記第 2 投光光学系の前記第 2 光路の光軸方向へ前記第 2 視標呈示部を移動させることで、前記第 2 呈示距離を変更することを特徴とする自覚式検眼装置。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 の自覚式検眼装置において、

前記第 1 視標呈示部を挿抜させる挿抜手段を備え、

前記挿抜手段が、前記第 1 投光光学系における前記第 1 光路から前記第 1 視標呈示部を抜くことによって、前記第 2 投光光学系は、前記第 1 視標呈示部を介することなく、前記第 2 視標光束を前記被検眼に投光することを特徴とする自覚式検眼装置。

10

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれかの自覚式検眼装置において、

前記第 1 投光光学系の光路中に配置され、前記第 1 視標光束の光学特性を変化させる第 1 矯正光学系と、

前記第 2 投光光学系の光路中に配置され、前記第 2 視標光束の光学特性を変化させる第 2 矯正光学系と、

を備え、

前記第 1 投光光学系は、前記被検眼に向けて、前記第 1 視標呈示部から出射され、前記第 1 矯正光学系を介して矯正された前記第 1 視標光束を投光し、

20

前記第 2 投光光学系は、前記被検眼に向けて、前記第 2 視標呈示部から出射され、前記第 2 矯正光学系を介して矯正された前記第 2 視標光束を投光し、

前記制御手段は、前記第 1 矯正光学系及び前記第 2 矯正光学系によって矯正された状態の前記被検眼に、前記第 1 視標と前記第 2 視標とを同時に呈示させることを特徴とする自覚式検眼装置。

30

40

50